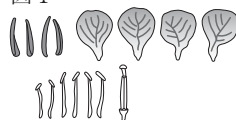


回 次の観察記録1～観察記録4は、島根県のある中学校で学校周辺の植物を観察したアカリさんが、観察日記に書き記した内容の一部を抜粋したものである。あとの1～4に答えなさい。

観察記録1 4月12日 10時 くもり

花だんのまわりに黄色いアブラナが咲き始めました。理科室に持ち帰り、花を分解してスケッチしたものが図1です。がくと花弁は4枚、おしべは6本、めしべは1本あることがわかりました。

図1



観察記録2 6月25日 13時 晴れ

梅雨の晴れ間の日です。校庭の土の表面は乾いていて、タンポポがたくさん咲いていました。校舎の裏側は日当たりが悪く、雨水が残ってジメジメしていて、ゼニゴケが集団で生えていました。土の上だけではなく、①石の上に生えているものもありました。

観察記録3 11月11日 11時 くもり

イチヨウの木にギンナンがなっていました。すでに落ちているものもあり、手袋をつけて拾って開いてみると、中にはタネのようなものが入っていました。これは加熱すると食べることができます、友達のミサキさんが教えてくれました。

観察記録4 3月1日 15時 晴れ

学校の周囲にはスギの木があります。スギの枝先に黄色い粒状の実のようなものがついていたので調べると、スギの花であることがわかりました。枝をゆらしてみると花粉がたくさん出てきました。最近同じクラスの②ハヤトさんが教室で何回もくしゃみをしているので、スギの花粉症かもしれません。

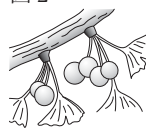
1 図1のスケッチを参考にして、アブラナと同じ花弁のつき方をしている花として正しいものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア アサガオ イ ツツジ ウ エンドウ エ タンポポ

2 下線部①について、タンポポとは異なりゼニゴケが石の上でも育つことができるのはなぜか。その理由を、ゼニゴケの水の吸収のしくみにふれて、簡単に説明しなさい。

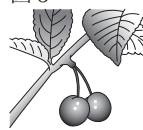
3 観察記録3について、ギンナン（図2）とは別に、サクラの木に実るサクランボ（図3）も食べることができる。この二つは似ているようで実際にはそのつくりが異なっている。サクランボにはあってギンナンにはないものは何か、その名称を答えなさい。

図2



ギンナン

図3



サクランボ

4 下線部②のように、スギの木から離れた教室にいてもスギの花粉症を発症する人がいる。ところが、サクラの花粉症はほとんどの場合、サクラの木に近づかなければ発症しない。このことを参考に、スギの花粉の運ばれ方について、簡単に説明しなさい。

【答】1. ウ 2. 水分をからだの表面から直接吸収しているから。（同意可） 3. 果実 4. 風によって運ばれる。（同意可）